

1992年(平成4年)2月26日(水曜日) 市民 [16]



記者席から

○「幼いころ、チャンバラに興じた思い出は男の子ならだれにもあるはず。そのチャンバラをスポーツにした「スポーツチャンバラ」を武藤氏が紹介。「学

校教育にも取り入れてほしい」と提案した。

最近の子供はけんか知らずで、いったんうっせきしたものが爆発すると手がつけられない。子供の欲求不満は非行や犯罪につながる。そこで殴り合いをスポーツに昇華させたチャンバラで、子供たちの欲求不満を解消してほしい」というのが趣旨。

スポーツチャンバラを授業に



スポーツチャンバラの道具を持つ武藤公明県議団長

ところが、チャンバラ体験を聞かれた小倉教育長は「単純な遊びで奥行きがなく、やったことがない」とにべもない。一方、「指導者もなく、指導要領にないスポーツを教科に採用するのは難しい」と正面から突っぱねたため、武藤氏はムカッ。「そんなに難しいことではない。現に自治体によっては部活動でやっている」と市野間でも取り上げた。小倉教育長も二度、スポーツ指導者の研修会で実技を披露してもらいたい」と述べ、一件落着いた。